



射水市名誉市民

あ そ う し ょ う ぞ う
麻生 正蔵

Aso Shozo

生年月日～没年月日

明治22年10月19日 生
～ 昭和54年4月26日 没

決定年月日

昭和54年4月18日議決

主な経歴

帝国農会議員
浅井村長
衆議院議員
大門町農業委員長

功績

麻生正蔵は、射水郡浅井村土合(現射水市)に生まれた政治家、農村功労者です。東京帝国大学(現東京大学)農学部を卒業後、官界に進まず帰郷し、「日本農業の発展は農業経営の成功にある」として自家の農業経営と郷土の発展に生涯を捧げようと決意します。

大正3年、25歳のとき、農村の共済組織である「有限責任浅井信用購買利用組合」を創立してその組合長に就任、その後、大正12年から昭和10年まで帝国農会(※)議員を、昭和3年から21年まで浅井村の村長を務めました。

昭和9年7月の庄川大洪水は、浅井村に流失家屋26戸、浸水家屋299戸、死者7人、田畑の約90%が土砂に埋まるという大被害を与えましたが、正蔵は村長として寝食を忘れて村の復旧に全力を尽くします。そして、その先見性と実行力をもって、時代の先端を行く近代区画の耕地整理を実施、数年を経ずして復旧を成し遂げ、内外の驚嘆と称賛を浴びました。

昭和21年には衆議院議員選挙に当選、29年からは25年間という長きにわたり大門町農業委員長を務め、昭和44年3月には射水農協の初代組合長となり、県下に誇る大農協の基盤を固めるなど、戦後の多難な中、農政の推進に大きな足跡を残しました。

昭和39年11月、水害復旧30周年を記念し麻生正蔵顕彰碑(※)が建立されました。顕彰碑には、二宮尊徳が唱えた報徳精神(※)に徹し、ひたすら郷土のために尽くした正蔵の偉大な功績が記されています。

- ※ 帝国農会 農業技術の指導、農業に関する調査研究、農民の福利増進などを目的とした全国組織。現在の全国農業協同組合中央会の前身。
- ※ 麻生正蔵顕彰碑 市立浅井コミュニティセンター敷地内に建つ。
- ※ 報徳精神 農村の自力更生を目標に、二宮尊徳が唱えた報徳思想を実践しようとする精神。